

事業所における自己評価結果

公表:令和 6 年 4 月 1 日

事業所名 放課後等デイサービス スマイル

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4			・運動に適した広々としたスペースが確保できている。	個別の荷物を置くスペースの確保も出来ている。
	②	職員の配置数は適切である	4				管理者1名/児発管1名 児童指導員3名
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4			・人口から療育スペースまで一切の段差なし	靴を履くのに椅子に腰かけてできるスペースがある。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	1			職員の意見を尊重している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4				
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4				会報を今後は載せたいと考えている。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	1	1		外部評価は行っていない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	1		・月1回以上の研修を行っている。	近々では虐待防止の研修を行いました。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4			・適宜行っている。	児発管、管理者とも親御様はもちろん、本人の意見を傾聴している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4				
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	4			・職員間で話し合う時間を毎日もうけている	継続利用が多いので毎日違う療育を心掛けてます。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4				利用者のニーズや年齢に応じて変えている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4				年間行事予定(長期)
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4				直接処遇の職員とは毎日振り返り話し合いを行っています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	3	1			朝礼時には必ず担当や行動確認をしている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4			・忙しかった日には翌朝 朝礼時に共有を行っている。 ・児童帰宅後の記録等の時間や、翌朝礼で行う。	翌日に持ち越す事もあるが、振り返りを行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4				注意事項は赤字で記載
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4				
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	3	1			
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	1			基本的に管理者、児発管がおこなっている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	4				基本 親御様からの情報をメインとしており、変更があれば対処している。学校に連絡するが、親御様に確認する様にと言われてしまう。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	2	1	・該当者がいない為。	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	1			送り迎え時に共有が出来ている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	2	1	・該当者がいない為。	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	1			専門機関の研修に今後は参加をしたい。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3		1	・外あそびや避難訓練 外出イベントの際に関わる事があります	外出イベント時に交流している。
	㉗	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している	2	1	1		
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4			・送迎時やお迎え時、家庭連携などで。	LINEでの共有を行っている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	2			なかなか難しいので行っていきたい。
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4				R6.4月から運営規定の変更がある。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	③①	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4				
	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	2	1		なかなか時間調整が難しいですが、見学参加を多くとり、仲裁になり連携を取る様にします。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4				
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	1		・スマイルキッズの発行。(月1回)	定期的に個別で発信している。
	③⑤	個人情報に十分注意している	4				Instagram等での顔出しが無いが複数で確認する様にしています。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4				特変の情報共有を行っている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		3	1	・今年度はなかったが、起震車をよび一般の方も参加可能なイベントを行った実績あり	近所の方が見学に来る事もある。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4				社内研修を行っている また委員会指針を掲示している(HP)
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4				年に2回総合訓練を行っている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4				社内研修を行っている また委員会指針を掲示している(HP)
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	1		・説明は行っているが該当なし。	契約時に書式を提示し説明している。実際には行っていない。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3		1	・該当なし	
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3			・職員全員で共有している(見たら「印」)	ヒヤリハットは気付きにより事故にならないので取り上げて共有していく。

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

